

La Vida
www.lavida.co.jp

ラ・ビーダ

〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀ノ内字地出来15-2
TEL: 024-959-3333 FAX: 024-959-3725
e-mail: info@lavida.co.jp

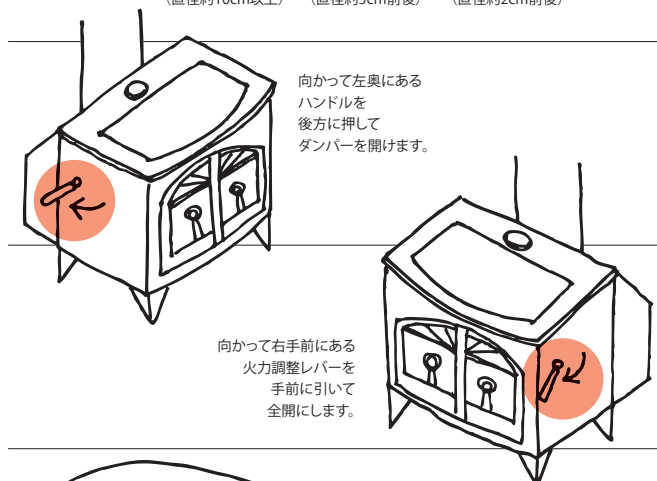
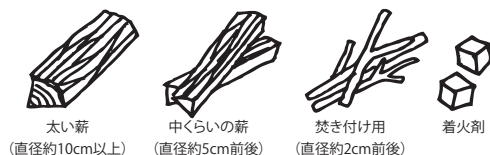
詳しくは、薪ストーブ付属の取扱説明書をお読みください。



焚きはじめ

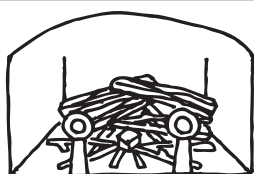
※詳しくは、薪ストーブ付属の取扱説明書をお読みください。

3種類の太さの薪と
着火剤を用意します。



向かって左奥にある
ハンドルを
後方に押して
ダンパーを開けます。

向かって右手前にある
火力調整レバーを
手前に引いて
全開にします。



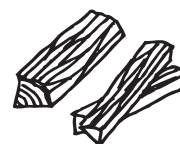
正面ドアを開けて着火剤を1〜2個置き、
その上に4〜5本の「焚き付け用の薪」を乗せます。
隙間をあけながら、さらに2〜3本の「中くらいの薪」
を組みます。着火剤に点火し、薪に着火したことを
確認したら正面ドアを閉めます。

その他注意事項

⚠ 次シーズンの薪の発注は5月頃までに!

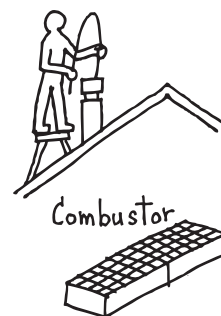
薪の発注は、シーズン終了の5月頃に手配してください。次の
シーズンが近くなってからだと、良質な薪の確保が難しくなり
ます。

■薪商はぜるね TEL 0247-73-8364
福島県田村郡三春町大字込木字大志田78
<http://hazerune.com/>



⚠ 毎年4〜5月にはメンテナンス依頼を!

年に一度、煙突掃除を含むストーブのメンテナンスを、4月〜5
月末頃までに専門の業者に手配して、次シーズンがくるまでに
行っておください。思わぬトラブルや事故からストーブや
住まいを守ることになる、大切な事柄です。
特に、触媒(コンバスター)は消耗品であるとともに、ストーブ
の性能に重要な部分ですので、状態にもよりますが、2シーズ
ンに1回程度の割合で交換します。



⚠ 室内は充分に加湿しましょう

薪ストーブを使用すると、室内の空気がとても乾燥するので、
適度な加湿が重要になります。湿度計などを部屋に設置し、ス
トーブの上に水の入ったヤカンを置いてお湯を沸かしたりス
チーマーなどを使って加湿を心がけてください。



灰の掃除と日々の手入れ

※ストーブが完全に冷えた状態で
おこなってください！



定期的に灰の掃除をしましょう。灰受け皿の縁までたまる前に以下の手順で処理してください。
また、数日ごとに炉内の灰をスコップや火かき棒で火格子からかき落とし、ストーブ内部の灰を取り除きます。

※危険ですから燃焼中は灰の処理を行わないでください。
灰受けドアも開けないでください。



灰受けドアハンドルを右に回して灰受けドアを静かに開き、付属の灰受けカバーを図のようにスライドさせて、灰受け皿にセットします。

灰受けカバーがしっかりとセットされていることを確認し、灰をこぼさないように灰受け皿ごと上に持ち上げます。

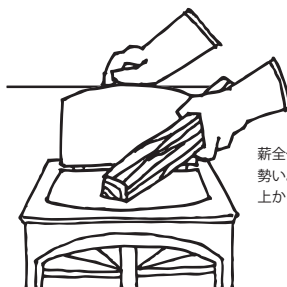


灰は火災のおそれがないように安全に取り出し、密閉できる金属製の容器に移します。
容器は周囲の可燃物から遠ざけ、3日以上経過させて、火の気が完全でないことを確認してから処分してください。



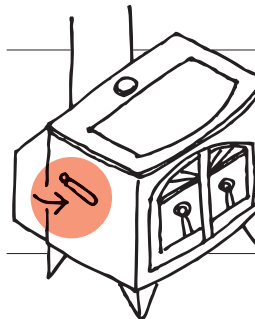
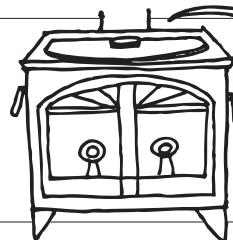
ストーブや煙突に付いたほこりや汚れは、掃除機で吸い取ったり固く絞った雑巾などで拭き取ってください。

ガラスに煤などが付いた場合は、早めに専用のクリーナーで除去してください。特にタール状のものが付着した場合、放っておくと除去に手間がかかります。

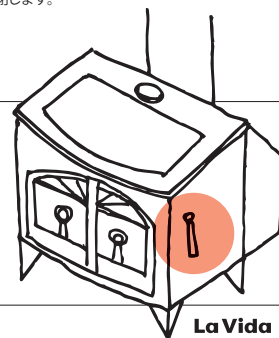


薪全体に火が行きわたり、勢いよく燃えてきたら、上面ドアを開けて上から中～太い薪を数本足します。

温度計が250℃前後になっていることと、火が薪を包み込んでいる状態であることを確認します。



向かって左奥のハンドルを前方に引いてダンパーを閉じます。



火力調整レバーを垂直に降ろして数分様子をみます。
温度が上がるようならもう少し閉じ、下がるようならもう少し開けます。

薪の補充／消火

※詳しくは、薪ストーブ付属の取扱説明書をお読みください。

